

令和3年度 第8回天竜区協議会

次 第

日時：令和3年11月26日（金）

午後2時00分から

会場：天竜区役所 21・22 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 区長あいさつ

4 議 事

(1) 協議事項

浜松市人権を尊重し多様性を認め合う差別のない社会づくり推進条例（案）
のパブリック・コメントの実施について 【資料1】

(2) 報告事項

新市建設計画について 【資料2】

(3) その他

ア 地域課題

イ 土田哲也委員の講演

5 その他

次回開催予定

日時 令和3年12月23日（木）午後2時

会場 天竜区役所 21・22 会議室

6 閉 会

第9号様式

区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input checked="" type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項				
件 名	浜松市人権を尊重し多様性を認め合う差別のない社会づくり推進条例（案）の パブリック・コメントの実施について				
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<p>1 背景 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う風評被害や誹謗中傷、ワクチン接種にかかる差別などの人権侵害が報告されている。また、多文化共生都市を目指す浜松市の外国人市民や、性的マイノリティの方への誤解や偏見の解消が、社会的な課題となっている。</p> <p>2 目的 課題の解決を図るため、人権を尊重し、人種、国籍、障がいの有無や性的指向などの多様性を認め合う、不当な差別や偏見のない社会づくりを進めることを目指す条例を制定する。</p>				
対象の区協議会	全区協議会				
内 容	<p>浜松市人権を尊重し多様性を認め合う差別のない社会づくり推進条例（案）のパブリック・コメントの実施について概要を説明するとともに内容について、協議するもの。</p> <p>既存の人権施策推進計画や人権施策推進審議会を体系化し、浜松市が多様性に配慮した都市であることを示し、人権施策への取り組みを進めていく条例とする。</p> <p>(1) 人権を尊重し多様性を認め合う差別のない社会づくりの推進に関する基本理念を定める (2) 市及び市民等（市民及び事業者）の責務を明らかにする (3) 国籍等による差別の解消 (4) 性的指向又は性自認の不当な差別的扱い等の禁止 (5) 不当な差別的扱いの禁止（(3)、(4)以外のもの） (6) 教育及び啓発 (7) 市の基本的施策（浜松市人権施策推進計画）の策定、年次報告、調査研究 (8) 浜松市人権施策推進審議会設置 (※制定済みの人権施策推進審議会条例の取込み)</p>				
備 考 (答申・協議結果を得たい時期、今後の予定など)	<p>パブリック・コメント実施（案の公表、意見募集） 令和3年11月15日～12月14日</p> <p>市の考え方公表時期 令和4年1月予定 施行時期 令和4年4月1日予定</p>				
担当課	福祉総務課	担当者	白柳 寿明	電話	457-2031

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

第9号様式

区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input type="checkbox"/> 協議事項 <input checked="" type="checkbox"/> 報告事項																		
件 名	新市建設計画について																		
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・新市建設計画は、旧市町村が合併した後の新市のまちづくりを総合的かつ効果的に推進していくための基本方針を示したものの。 ・合計 306 事業を登載し、平成 17 年度から令和 2 年度までの 16 か年を計画期間としている。 																		
対象の区協議会	全区協議会																		
内 容	<p>令和 2 年度末をもって計画期間を終了したことから、計画終了時点の状況を取りまとめて報告するもの。</p> <p>新市建設計画登載事業の計画終了時点の状況は次のとおりである。</p> <p>(1) 着手率及び完了率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着手率 83.7% (着手事業数 256 / 計画事業数 306) ・完了率 78.4% (完了事業数 240 / 計画事業数 306) <p>(2) 事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績額 4,032 億円 (計画額 3,918 億円) <p>(3) 事業進捗状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>進捗状況</th> <th>事業数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>完了</td> <td>136</td> </tr> <tr> <td>完了 (附帯理由付き完了)</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>完了 (経常事業のため継続)</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>未完了のため継続</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>実施困難 (必要性)</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>実施困難 (実現性)</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p>詳細は別紙のとおり。</p>					進捗状況	事業数	完了	136	完了 (附帯理由付き完了)	42	完了 (経常事業のため継続)	62	未完了のため継続	16	実施困難 (必要性)	28	実施困難 (実現性)	22
進捗状況	事業数																		
完了	136																		
完了 (附帯理由付き完了)	42																		
完了 (経常事業のため継続)	62																		
未完了のため継続	16																		
実施困難 (必要性)	28																		
実施困難 (実現性)	22																		
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年11月 市民文教委員会にて計画総括を報告 																		
担当課	市民協働・ 地域政策課	担当者	加藤 裕	電話	4 5 7 - 2 0 9 4														

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

令和3年11月26日
市民協働・地域政策課

新市建設計画について

1 新市建設計画の概要

- ・新市建設計画は、旧市町村が合併した後の新市のまちづくりを総合的かつ効果的に推進していくための基本方針を示したもの。
- ・平成16年10月に策定した新市建設計画は、旧12市町村での議決後に合併協議会で協定として締結された。
- ・当初は、10か年（平成17年度～平成26年度）を計画期間として304事業を盛り込み、平成25年度に「津波対策事業」と「防災・減災事業」の2事業を追加し、令和2年度末まで計画期間を延長。
- ・306事業の16か年の計画事業費は3,918億2,800万円。
- ・策定の方針において「本計画は、合併後の新市において策定する総合計画に継承するものとする」と定められている。
- ・平成19年度に策定した第1次浜松市総合計画（H19～H26）には、「新市建設計画の尊重」が5つの策定の基本方針の1つに盛り込まれ、個別計画などに基つき実施してきた。
- ・本計画の終了に伴い、登載事業は地域の実情などを勘案しながら、所管課が取り組む個別計画などにおいて検討していく。

2 進捗状況

- ・平成23年2月の総務委員会において、新市建設計画の進捗及び今後の方針を報告するとともに、実施が困難な事業53事業をあわせて示している。
- ・平成28年6月には行財政改革・大都市制度調査特別委員会にて、合併・政令市の検証を行う中で、各事業の進捗状況や実施困難事業が50事業あることを報告している。
- ・令和2年5月の市民文教委員会において、各事業の計画終了時の見込みを報告している。
- ・計画終了に伴い、下記の通り整理。

進捗状況		対象となる事業
完了		計画通りの内容で完了した事業
完了 (附帯理由付き完了)		計画から内容変更して実施し、所期の目的を達成した事業
完了 (経常事業のため継続)		経常事業のため計画終了後も実施する事業
未完了のため継続		計画期間内に完了しないため、計画終了後も実施する事業
実施困難	(必要性)	同様の目的を持つ事業が別で実施されたり、事業に対するニーズがなくなったりするなど、事業を取り巻く環境の変化によって実施の必要性がなくなり、実施を取り止めた事業
	(実現性)	地元や関係団体、関連事業との調整の目途が立たないため、実施を取り止めた事業

3 計画終了時点（令和2年度末）の状況

(1) 着手率及び完了率

- ・着手率 83.7%（事業件数ベース 256/306）
- ・完了率 78.4%（事業件数ベース 240/306）

(2) 事業費

- ・実績額 4,032 億円（計画額 3,918 億円）

(3) 事業進捗状況

進捗状況		事業	該当事業例
完了		136	<ul style="list-style-type: none"> ・森林景観整備事業（14・佐久間） 地域内の主要国県道等の道路沿いの森林の間伐や枝打ち等を実施 ・給食センター建設事業（230・天竜） 給食センターの建設を実施
完了 （附帯理由付き完了）		42	<ul style="list-style-type: none"> ・はるのしあわせ村整備事業（215・春野） 温泉掘削等は中止し、平成23年度に介護老人保健施設や診療所の整備を実施 ・龍山総合センター耐震補強事業（277・龍山） 近隣で建設した龍山協働センターに龍山総合センターの一部を付加することで総合センターを廃止
完了 （経常事業のため継続）		62	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィーンとの音楽交流事業（83・佐久間） 元ウィーン・フィル管弦楽団のカール・ヤイトラー氏を招へいしてのコンサートを継続して開催 ・ボートによるまちづくり事業（261・天竜） ボート大会の開催、施設の維持・修繕を継続して実施
未完了のため継続		16	
実施困難	（必要性）	28	<ul style="list-style-type: none"> ・観光交流人口拡大事業（29・天竜） 阿多古川流域に民間のオートキャンプ場及び川遊び用の駐車場が整備された ・寒冷地農作物特産化事業（55・水窪） 利用を検討していた市有施設の解体や農家の高齢化及び担い手不足から新規農作物の導入体制が整わない
	（実現性）	22	<ul style="list-style-type: none"> ・閉校校舎周辺定住環境整備事業（167・龍山） 旧龍山北小学校の施設は、市書庫として活用するとともに緊急時の避難所の役割を担っている ・都市部学校の山村留学事業（259・水窪） 留学生を受け入れるための人や施設などの体制が整っていない
合計		306	

新市建設計画登載事業実績

単位:千円

施策	事業名	事業概要	区名称	R2年度末の状況	進捗状況の理由	計画年度	実施年度	計画額	実績額	本庁所管課
5	もりとみずの里づくり事業	秋葉ダムの建設により観水機能が失われた瀬尻地区において、ダム湖の護岸安全施設の整備と併せて平地を造成し、地域の防災機能の拠点、天竜川に沿った南北交流の拠点となる施設整備を図る。 ・地域防災拠点整備 ・交流拠点施設整備	天竜区	完了(附帯理由付き完了)	護岸用地の課題や護岸管理者との調整が図れず実施が困難となったため、施設の新設ではなく既存施設の活用にて対応することとし、龍山森林文化会館を地域施設管理運営委託することと、地域交流の場を設置するなどとした。また、廃校(龍山北小)は予備避難所に位置付け、非常時に利用できる状況としている。	H20-H26	H23-R2	719,000	0	市民協働・地域政策課
6	水力発電PR館整備拡充事業	天竜川・浜名湖地域における天竜川の水資源の重要性を認識してもらうため、天竜川に建設されたダム群の水力発電の仕組みや各種水供給の状況をPRするため、既存施設の整備拡充を行う。	天竜区	完了(附帯理由付き完了)	計画策定時、閉館が予定されていた佐久間ダム電力館を所有者である電源開発株式会社から市が譲り受け、整備拡充して運営する計画であったが、その後、閉館が取り止めとなり、現在も電源開発株式会社が運営を継続している。	H17-H26	—	50,000	0	市民協働・地域政策課
7	(仮称)森林・水資源環境センター整備事業	天竜川中流域の中山間地域における水資源や森林資源が果たす役割を十分に発揮できるよう関連機能を集積した施設を整備する。 ・(仮称)森林・水資源環境センター施設の整備	天竜区	完了(附帯理由付き完了)	施設整備の目的である治山・治水、森林保全等については、林業振興課と農西部農林事務所が連携し各種事業を実施しているため、新たな施設整備の計画を見直し、県と連携するなかで主にソフト事業を実施した。	H24	H24-R2	50,000	0	林業振興課
14	森林景観整備事業	地域内の主要国道等の道路沿いの森林の間伐や枝打ち等を実施し、森林の健全な育成と環境整備を行い、森林の景観保全イメージアップを図る。	天竜区	完了	計画どおり完了	H17-H22	H17-H22	18,000	12,232	林業振興課
19	清掃工場建設事業	一般廃棄物を安全・安定的に処理するため、老朽化が進む南部清掃工場と平和破碎処理センターの代替施設として、天竜区青谷に新清掃工場及び新破碎処理センターを整備する。	天竜区	未了のため継続	令和5年度までに施設整備を完了し、令和6年4月より施設を供用開始するため。	H21-H26	H23-R5	1,724,000	11,254,759	廃棄物処理課
25	公営対策事業(太陽光発電設備補助金)	No.26へ統合	天竜区	完了	計画どおり完了	H17-H26	H17-R2	10,000	0	環境政策課
29	観光交流人口拡大事業	観光交流人口拡大に向けた環境整備を行う。 ・森と水辺公園整備事業 ・阿多古川をシンボルとした森林(もり)と水辺公園整備 3ha用地取得、造成、整備工事 ・天竜船下り施設整備事業 ・船明ダム湖周辺整備事業	天竜区	実施困難(必要性)	阿多古川流域に民間のオートキャンプ場及び川遊び用の駐車場等が整備されたため、事業者による天竜船下り事業が廃止されたため。 民間施設の開設で木工体験工房等建設の必要性が薄れたこと及び道の駅「天竜相津花桃の里」の利用者増による駐車場の確保が必要となり施設新設の用地が確保できなくなったため。	H22-H26	—	635,000	0	観光・シティブロモーション課
31	温泉施設整備事業	ふるさと創生基金により掘削した温泉資源(深度1,500m、泉温27.6℃、湧出量毎分67リットル)の活用方法について、基本構想に基づき健康増進の場として整備する。 ・事業：温泉施設及び関連施設の整備 ・時期：三遠南信自動車道佐久間道路の開通を視野に ・場所：旧佐久間町内(島中地内) ・運営：民設では難しいため公設民営により運営	天竜区	実施困難(必要性)	安定的な事業展開のための温泉としての諸条件である湯量の確保や運営体制の確立ができない。 また、温泉施設等の保養施設などの建設については、浜松市公共施設等総合管理計画において実施しないことを決めている。	H26	—	996,000	0	観光・シティブロモーション課
34	青少年旅行村施設整備	自然環境に触れながら、体験を通して森林の役割等を学ぶための施設を整備する。 ・青少年旅行村施設整備(長期滞在施設5棟)	天竜区	完了	計画どおり完了	H18	H17-H18	30,000	38,930	林業振興課
35	青少年旅行村管理運営費	自然環境に触れながら、体験を通して森林の役割等を学ぶための施設の維持管理を行う。 ・龍山青少年旅行村施設の維持管理	天竜区	完了	計画どおり完了	H17-H26	H17-H27	79,000	41,052	林業振興課

施策	事業名	事業概要	区名称	R2年度末の状況	進捗状況の理由	計画年度	実施年度	計画額	実績額	本庁所管課
40	農業農村整備事業	農道の整備を実施して、農産物の輸送の合理化を図る。 ・農道開設 6路線	天竜区	完了	計画どおり完了	H17-H22	H17-H22	359,000	305,768	農地整備課
43	山村振興等農林業特 別対策事業	都市的域や平地農業地域と山村等中山間地域の地域格差の是正を図るため、山村振興法に基づき、農林漁業をはじめとする産業基盤や生活基盤等を整備し、豊かな自然環境の保全や快適な山村を作るための施策を総合的に実施する。 ・地域連携推進事業 ・対象地域：山村振興指定地域等地域振興5法指定地域	天竜区	完了	計画どおり完了	H21-H26	H23	482,000	129,811	農地整備課
44	林業・木材構造改革 事業	効率的な林業生産に資するための林道を整備する。 ・単独林道高平線開設、作業道カシ山線開設	天竜区	完了	計画どおり完了	H17-H26	H17-H29	335,000	213,933	林業振興課
45	林業・木材産業構造 改革事業	森林・林業基本法に基づき、林業の継続かつ健全な発展と、需要構造の変化に対応した林産物の供給・利用を推進するため、経営や施業の担い手の育成、競争力ある木材産地の形成と地域材の安定的な供給等を図る。 ・林業機械、施設の整備	天竜区	完了(経常事業のため継続)	経常事業のため継続実施	H17-H26	H17-R2	206,000	676,991	林業振興課
47	フォレストコミュニティ 総合整備事業(新事業名：里山エリア再生 交付金事業)	安定した飲料水の供給をため、フォレストコミュニティ総合整備事業として飲料水供給施設及び簡易水道施設の再編を進める。 ・飲料水供給施設整備	天竜区	完了	計画どおり完了	H18	H18	80,000	20,160	林業振興課
48	フォレストコミュニティ 総合整備事業(新事業名：中山間地域林業整備事業)	作業道上久保線開設	天竜区	完了	計画どおり完了	H17	H17-H20	52,000	116,880	林業振興課
49	フォレストコミュニティ 総合整備事業(新事業名：森林居住環境整備事業、道整備交付金事業)	居住環境等山村地域の活性化を図るため、集落林道を整備する。 ・林道開設	天竜区	完了	計画どおり完了	H17-H26	H17-H19	578,000	194,282	林業振興課
50	林道開設事業	単独林道事業 ・林道開設 1路線	天竜区	完了	計画どおり完了	H17-H20	H17-H20	170,000	102,255	林業振興課
51	単独林道(開設)事業	林道整備事業(単独林道開設) ・ヒゲン支線開設	天竜区	完了(附帯理由付き完了)	作業道開設は、旧龍山村のみ村主体だったが、その他は森林所有者等が主体(現在も森林所有者等が主体)。合併後、作業道開設等への補助制度を整備していることから、市主体の作業道開設は要しない。	H17-H26	H19-H20	180,000	120,000	林業振興課
52	集落道開設事業	中山間地域農林業整備事業 ・集落道開設 3路線	天竜区	実施困難(必要性)	地すべりエリアや急傾斜地区のため、集落道の開設に多額のコストが必要となることに加え、近年、集落関係者が1人となり、実施の必要性がなくなってきたため、一部事業の実施を取りやめた。	H17-H21	H17	270,000	20,000	林業振興課
55	寒冷地農作物特産化 事業(アグリレレッジ みさくほ構想)	旧自然クラブセンター跡地周辺にて新品種の導入試験の実施、調査研究を行い、寒冷地農作物の特産化研究を推進する。 ・実施計画と試験栽培	天竜区	実施困難(必要性)	山間地域ということもあり、農家の高齢化及び担い手不足といった状況の中、新規農作物の導入の体制が整わない。また、利用を検討していた旧自然クラブセンターも施設再配置計画により解体した。認定農業者、新規認定農業者等もいちご栽培を考えていない。	H17-H26	—	1,000	0	農業振興課
56	高根城公園整備事業 (アグリレレッジみさく ほ構想)	公園の観光名所として利用拡大を図るため、モミジ又はサクラ等の植栽やトイレを設置する。	天竜区	完了	計画どおり完了	H20-H22	H20-H30	42,000	0	公園管理事務所

施策	事業名	事業概要	区名称	R2年度末の状況	進捗状況の理由	計画年度	実施年度	計画額	実績額	本庁所管課
57	休廃校整備事業(アグリビレッジみさくほ構想)	人々との交流を深める癒しの環境を整備するため、静かな山村風景に囲まれた木造休廃校を有効利用し、体験施設・交流施設へリニューアールする。 ・門桁中学校校舎の内、旧門桁中学校部分(老朽部分)469㎡の解体 ・門桁小学校校舎の内、門桁小学校部分387㎡の内装整備 ・西浦小学校校舎の810㎡の内装整備	天竜区	完了(附帯理由付完了)	平成23年度に門桁小学校及び旧門桁中学校は老朽化が著しく全部を解体した。西浦小学校については、「中山間地域の廃校・廃園の利活用に関する方針」に基づいて平成23年度から平成30年度まで民間団体「ミナノ森プロジェクト」に貸与された実績があり、今後この方針に基づいての活用を予定している。また、西浦地区は西浦区民交流の場管理組合が同地区内の田舎の里活用により当事業の目的を果たす取組を行っている。	H17-H19 H17-R2	H17-R2	33,000	0	市民協働・地域政策課
60	農産物直売施設(道の駅)整備事業	観光交流人口の増加を促進するため、三遠南信自動車道のインターチェンジ建設に合わせ、農産物直売施設を整備し、地域の活性化及びPRを図る。 ・農産物直売施設・公衆トイレの整備	天竜区	実施困難(必要性)	計画地域内の事業所が廃業したことにより、その施設を活用し、現在、月2回ほど物産販売を試験的に実施している。落橋により建設中であった佐久間地区新原田橋が完成したが、三遠南信自動車道の全線開通の見込みが未定である。	H25-H26	—	25,000	0	農業振興課
83	ウィーンとの音楽交流事業	ウィーンの音楽を通して音楽に対するより深い理解と演奏技術の向上、国際感覚の醸成と地域文化を推進するため、ウィーン・フィル管弦楽団のバストロンボーン奏者「カール・ヤイトラー」氏を招へいする。 ・地元吹奏楽団体や高校生への指導 ・小中学校訪問指導・交流 ・大小コンサート開催 など	天竜区	完了(経常事業のため継続)	経常事業のため継続実施	H17-H26	H17-R2	54,000	57,896	創造都市・文化振興課
109	都市計画公園整備事業	船明土地区画整理事業において、区域内に3公園を整備する。 ・船明中央公園 A=1.3ha ・上飯塚公園 A=0.2ha ・川久保公園 A=0.2ha	天竜区	未完了のため継続	上飯塚(じょうろうづか)公園、川久保(かわくぼ)公園の整備は、今後着手予定。浜松市都市計画公園整備プログラムでは、第1期(H28-R6)に着手する公園としている。 船明中央公園は令和2年度未完成。	H21-H22	H29-R6	110,000	135,328	公園課
112	町並み活性化事業(アグリビレッジみさくほ構想)	観光客への癒しの場を提供するため、長野県との景観にある昔ながらの塩の道の町並みを保存し、空家をミニ資料館や憩いの場(無料休憩所)として改修、再利用する。	天竜区	完了(附帯理由付完了)	車道を改良した歩行者専用道の整備は、交通量や道路幅員なども考慮して検討した結果その必要性は低いと判断した。また、空家を利用したミニ資料館や憩いの場設置はNPO法人に生かす金が交流所の設置などを実現している。フリーマーケットの開催については「水窪夢街道」や「じゃがた祭り」開催など地元団体により実現されていることから、行政による事業実施の必要性は低くなると判断した。	H21-H22	H21-R2	13,000	150	市民協働・地域政策課
130	都市計画道路山王曲り線(中村地区)道路整備事業	国道152号浜北天竜バイパス山王地区を起点とし、同地区を縦断し二俣川の横断、国道362号を交差し、終点を再び二俣地区内とする都市計画道路を整備する。 ・延長L=880m 幅員W=14-16m	天竜区	実施困難(実現性)	都市計画道路阿蔵山線以北の道路整備については、開発計画の動向を見極めながら検討していく。	H23-H26	H23-H24	280,000	0	道路企画課
143	西鹿島駅周辺整備事業(西鹿島駅前広場整備事業)	遠州鉄道西鹿島駅は鉄道乗降客、バス、タクシーが参集する場所であり、交通導線の単純化と円滑な処理を図るため、駅前広場整備を行う。 ・駅前広場整備(タクシー駐車場設置等)	天竜区	未完了のため継続	鉄道事業者が実施する駅構内施設のバリアフリー化事業等に合わせた一体的な整備推進が必須となっているが、鉄道事業者の事業計画見直しにより、当該駅舎のバリアフリー事業が先送りとなったため。	H25-H26	H20-	150,000	20,257	都市計画課
145	コミュニティバス運行事業(No.152へ統合)	No.152へ統合	天竜区	完了(経常事業のため継続)	経常事業のため継続実施	H22-H26	H22-H26	23,000	0	交通政策課

施策	事業名	事業概要	区名称	R2年度末の状況	進捗状況の理由	計画年度	実施年度	計画額	実績額	本庁所管課
146	公共交通運行事業	北遠本線と接続する自主運行バス佐久間線(旧佐久間町西渡-中部天竜駅(佐久間高校入口間)の欠損分を遠州鉄道に補助する。 ・福祉バス運行委託 ・自主運行バス佐久間線	天竜区	完了(経常事業のため継続)	経常事業のため継続実施	H17-H26	H17-R2	351,000	390,953	交通政策課
147	町営バス及び北遠本線バス車庫及び待合所整備事業	利用者の利便性確保と公共交通機関の維持管理のため、現在の車庫と待合所を解体し、町営バス及び北遠本線バスの車庫並びに待合所の用地への常備消防署を建設する。	天竜区	実施困難(必要性)	車庫は修繕、待合所は計画策定時と比較して利用者が減少したことにより車庫と待合所を解体・建設する必要がなくなった。	H17-H18	—	49,000	0	交通政策課
148	自主運行バス運行事業	旧天竜市内の自主運行バスの運行に係る欠損額を補助する。 ・委託先:遠州鉄道株 ・6路線20系統	天竜区	完了(経常事業のため継続)	経常事業のため継続実施	H17-H26	H17-R2	568,000	799,822	交通政策課
151	村営バス運行事業	地域住民の生活交通の確保を図るため、白倉-瀬尻間を運行する村営バスの運行を行う。	天竜区	完了(経常事業のため継続)	経常事業のため継続実施	H17-H26	H17-R2	80,000	76,038	交通政策課
152	自主運行バス事業	住民の利便性を図るため、公共交通機関のない地域や患者輸送車が運行している地域を巡回するコミュニティバスを運行する。	天竜区	完了(経常事業のため継続)	経常事業のため継続実施	H17-H26	H17-R2	77,000	149,260	交通政策課
153	公営タクシー運行事業	最寄りにバス路線がない、または身体上の理由によりバスに乗り降できないなどの交通弱者の交通輸送サービスの向上を図るため公営タクシーを運行する。	天竜区	完了	計画どおり完了	H17-H26	H17-H26	99,000	63,926	福祉総務課
163	三遠南信自動車道佐久間道路周辺開発事業	国土交通省が施工する三遠南信自動車道佐久間インターチェンジの工事実施に伴い、残地となる周辺農地が低地域となり耕作が困難となるため嵩上げ盛土を行い、土地の有効活用を図る。	天竜区	完了	計画どおり完了	H17-H26	H17-H30	31,000	0	農地整備課
165	公営住宅建替事業	公営住宅22団地107戸のうち、昭和20-30年代にかけて建てられた木造住宅の多くが建築から約50年を経過したため、解体撤去(用途廃止)、建替などの方法により運営管理の適正化を図る。	天竜区	完了(附帯理由付き完了)	佐久間地区の市営住宅の多くが借地であるほか、当地区の今後の需要が見込めないことから建替えは困難と判断し、建替えは行わないこととした。 対象となる老朽化した団地については、「市営住宅ストック総合活用計画」(平成24年3月策定)において用途廃止と位置づけ、平成29年度までに市営住宅条例から削除をした。	H21-H26	H23-H29	212,000	38,893	住宅課
166	住宅建設事業	地域内住民の他市町村への流失を防ぐと併し、若年層の流入を図るために入居基準の厳しい公営住宅事業ではない、制約の緩和された住宅建設を行う。	天竜区	実施困難(実現性)	新規住宅の建設は、用地確保が出来ないことから中止とした。 その後、同地区内の市営団地を活用して“公営住宅法の制約を受けない住宅”の供給を検討することとしたが、北遠地域の市営住宅の入居要件を緩和しても需要が低かったため住宅供給の必要がないと判断した。	H17-H19	—	179,000	0	住宅課
167	閉校校舎周辺定住環境整備事業	平成16年3月末で第一小学校へ統合したため廃校となった龍山北小学校を改築し、新たなかたちで地域活性化、定住促進を図る。	天竜区	実施困難(必要性)	龍山地域内にある市営住宅に空きがある状況となっているため、新たに施設整備を行う必要性がない。	H19-H20	—	85,000	0	市民協働・地域政策課
170	市営住宅の建設(建替)事業	耐用年数の経過した皆原団地(59戸)を市営住宅ストック総合活用計画により建替えを行う。	天竜区	完了(附帯理由付き完了)	皆原団地は借地上にあるほか、当地区の今後の需要が見込めないことから建替えは困難と判断し、「市営住宅ストック総合活用計画」(平成24年3月策定)において用途廃止することを位置づけ、平成29年度に市営住宅条例から削除した。	H18-H22	H23-H29	576,000	30,007	住宅課

施策	事業名	事業概要	区名称	R2年度末の状況	進捗状況の理由	計画年度	実施年度	計画額	実績額	本庁所管課
175	移動通信用鉄塔施設整備事業	携帯電話の通話エリアを拡大し、住民サービスを向上させるため、移動通信用施設を整備する。	天竜区	完了	計画どおり完了	H17-H26	H17-H20	16,000	0	情報政策課
176	難視聴対策事業	NHK及び民放4社のテレビ難視聴の解消のため、中継局の充実と共同受信施設整備の推進を図る。また、民放中波ラジオの難聴解消のために設置した中継設備の維持管理を行う。 ・民放中波ラジオの中継局1局 ・放送局5局の維持管理	天竜区	完了(経常事業のため継続)	経常事業のため継続実施	H17-H26	H17-R2	14,000	137,757	情報政策課
177	テレビジョン共同受信施設事業費補助金	山間地等地形的条件によるテレビ難視聴の解消を図るため、共同受信施設を設置するテレビ組合に対し、設置・改修費の補助を行う。 ・交付先:共同受信施設を設置するテレビ組合 ・補助対象:通信線など、国庫補助対象に含まれない設備	天竜区	完了	計画どおり完了	H17-H26	H17-H26	4,000	4,000	情報政策課
179	飲料水供給施設の整備拡充	人口の過半近くに給水している飲料水供給施設61施設と小規模飲料水供給施設22施設について、計画する統合又は改良事業による施設の合理化を図った中で業務委託により適正な維持管理や整備を行う。 ・飲料水供給施設の測量設計業務 ・取水施設、浄水施設(小型浄水施設)、電気設備、配水池、導水管、配水管	天竜区	実施困難(必要性)	20計画のうち14計画が完了。 浄水施設や送・配水管の整備は健全に稼働していたことから、今後の老朽度や施設状態を確認した上で対応することに変更した。現在の水道の状況のほか、利用者数と改良費用など総合的な観点から実施の必要性は低いと判断したもののなど6事業。	H17-H26	H17-R2	736,000	830,231	天竜上下水道課
180	佐久間・水窪共同斎苑火葬炉増設事業	佐久間・水窪共同斎苑は、昭和60年4月の稼働開始から20年が経過し、老朽化がひどく、今後の火葬業務の継続が危惧されるため、火葬炉の数を現在の1基から2基に増設し、円滑な斎苑運営を図る。	天竜区	完了	計画どおり完了	H18	H18	30,000	23,940	市民生活課
187	(仮称)本田宗一郎記念館建設事業	天竜で生まれ育ち、浜松で起業して、一代で世界の「ホンダ」を築き上げ、今も多くの人々に愛される故本田宗一郎氏を顕彰し、氏の功績などを後世に残すため記念館を建設する。	天竜区	完了(附帯理由付き完了)	既存の施設(旧二俣町庁舎)を活用し、施設整備を実施したため。	H18-H19	H17-H21	400,000	292,484	創造都市・文化振興課
188	[Z](片山豊)記念館整備事業	旧春野町出身でフェアレディーズの生みの親として知られ、米國自動車輸入した日本人4人(本田宗一郎、豊田英二、田口玄一、片山豊)の中の一である「片山豊」氏の功績を称え、春野の誇りとして後世に偉業を伝承し春野のイメージアップを図るために「Z」(片山豊)記念館を整備し、併せて新たな観光資源として活用する。	天竜区	完了(附帯理由付き完了)	旧春野町時には、ミスターKとして米國自動車殿堂入りしを果たした片山豊氏の功績を称え、日産フェアレディーズ愛好者を中心に「Z」カーイベントを開催していた。平成23年からは「Z」カーイベントからオールドカー in K' zROADとして活動を行っており、近年は約4,000人から10,000人程度参加するイベントとなっている。併せて、春野文化センターにおいて片山氏の記念品等展示コーナーの常設をしており、記念館の整備に替えて観光資源として活用している。	H24-H25	H24-R2	108,000	0	市民協働・地域政策課
189	すみれの里ミュージアム整備事業	宝塚歌劇団育での親「白井鐵造」生誕の地であり、ふるさとを思い作詞したと言われる歌劇団愛唱歌「すみれの花咲く頃」に因み進めている「すみれの里づくり」のシンボル及び拠点施設としてミュージアムを整備し、広域交流の推進と地域活性化を図る。	天竜区	完了(附帯理由付き完了)	浜松市と宝塚市における「すみれ」をきっかけとした音楽交流や民間団体による宝塚歌劇団OBが参加するイベント開催などにより広域交流の推進が図られている。また、既存の白井鐵造記念館の展示内容の更新や民間団体による文化センターを活用した企画展開催により隣寄を図り地域活性化が図られている。	H22-H23	H22-R2	55,000	0	市民協働・地域政策課

施策	事業名	事業概要	区名称	R2年度末の状況	進捗状況の理由	計画年度	実施年度	計画額	実績額	本庁所管課
208	空き家を活用した介護拠点整備事業	水鏡地域の各地区にある空き家を買上げ、デイサービスセンターとして改修し、地域介護の拠点とする。	天竜区	完了(附帯理 由付き完了)	平成17年度に特別養護老人ホーム「みさくほの里」(デイサービスセンター併設)が整備されたことにより、同地域のデイサービスセンター需要に対応するハード整備は完了した。	H20-H21	—	17,000	0	高齢者福祉課
209	特別養護老人ホーム「さくまの里」増床事業補助	特別養護老人ホーム「さくまの里」の増床事業を行う社会福祉法人さくまに対し、施設整備費補助金を交付する。 ・入所施設50床→80床 ・ショートステイ8床→18床	天竜区	完了	計画どおり完了	H17	H17	108,000	154,570	高齢者福祉課
210	特別養護老人ホーム施設整備事業	特別養護老人ホーム「みさくほの里」創設事業を行う社会福祉法人千寿会に対し、施設整備費補助金を交付する。	天竜区	完了	計画どおり完了	H17	H17	230,000	180,134	高齢者福祉課
215	はるのしあわせ村整備事業	春野の恵まれた自然、風土を利用した健康・福祉・医療拠点を整備し、高齢化への対応と医療の不安解消を図る。 ・高齢者福祉施設の整備 ・健康管理・診療施設や健康維持・回復温泉施設の整備	天竜区	完了(附帯理 由付き完了)	温泉掘削等は中止し、平成23年度に診療所を併設した介護老人保健施設はるのケアセンターの整備を行った。	H18-H26	H23	1,716,000	202,500	高齢者福祉課
221	小学校 グランド拡張事業	龍山第一小学校のグラウンドを拡張、フェンス等の安全対策を行う。 ・拡張面積 約300㎡	天竜区	完了	計画どおり完了	H17	H17	100,000	113,407	教育施設課
222	校舎耐震補強事業	国が新しい耐震基準を定めた昭和56年以前に建設された佐久間地区の小学校について、東海地震などの発生に備え耐震診断及び耐震補強工事を実施する。 ・佐久間小(体育館)、浦川小(体育館)、城西小(体育館)	天竜区	完了	計画どおり完了	H17-H26	H18-H22	93,000	210,273	教育施設課
230	給食センター建設事業	旧天竜市学校給食センターは、昭和45年に建設された施設であり、地震対策として、また衛生管理体制の向上のため、新たな施設を建設する。 ・規模：鉄骨造り 約1,300㎡ ・処理能力：3,000食/日	天竜区	完了	計画どおり完了	H17-H21	H17-H21	800,000	832,134	教育施設課
231	デイサービスの併設・広域対応型保育施設整備事業	耐震上不備な民間保育園1園と、市内で1園となっている公立保育所を統合し新たに1園を建設することにより、耐震整備による園児の安全確保と保育事業の効率化を図る。建設地は、現在の鹿島保育所の近隣とし、広域利用が可能な地とする。また、保育園に隣接してデイサービスセンターを併設した複合施設とする。	天竜区	実施困難(必要性)	耐震性に不備のあった民間のすぎのこ保育園(現：子育てセンター)については、平成16年度に耐震補強工事を実施済みであり、運営主体の社会福祉法人においても、保育需要とのバランスから、現在地での事業継続については承済み。また、公立の鹿島保育園は民営化により平成30年度末をもって廃園し、代替園としてみゆうのおか保育園(現：子育てセンターみゆうのおか)が近隣地に開設した。	H22-H24	—	617,000	0	幼児教育・保育課
237	幼児教育と一体となった子育て支援事業	当地域には保育所がなく、幼稚園入園(3歳)までの育児の支援のために子育て支援センターを開設している。各家庭の育児に対する不安は大きく、しかもニーズは多様なものがあるため、それに応える施設整備を図る。	天竜区	実施困難(必要性)	・龍山町の市民が、市内の認定こども園や保育所等を利用することは可能であることや、天竜区保育ママ事業の実施により対応している。 ・子育て支援事業については、龍山保健センターにおいて「中山間地域親子ひろば」を実施しており、当該地域のニーズに対応している。	H26	—	40,000	0	幼児教育・保育課

施策	事業名	事業概要	区名称	R2年度末の状況	進捗状況の理由	計画年度	実施年度	計画額	実績額	本庁所管課
249	総合スポーツセンター建設事業	現在の市民体育館は老朽化も進んでいることから、地震対策上、そして地域スポーツの拠点・機能充実のため、新たなスポーツセンターを建設する。 ・天竜体育館の建設 ・規模：鉄骨鉄筋コンクリート造り2階建て 約4,000㎡	天竜区	未完了のため継続	令和3年度に天竜体育館の大規模改修を実施する。	H20-H23	H29-R5	835,000	18,734	スポーツ振興課
254	図書館整備事業	天竜図書館と二俣公民館を分離し、二俣公民館部分を図書館として改修する。併せて、遠隔地の幼小中学校への移動図書館サービスの充実を図る。	天竜区	完了(附帯理由付き完了)	天竜図書館について、二俣協働センターから分離して整備する当初の事業概要を見直し、ユニバーサルデザインに配慮した改修工事を実施し、引き続き複合施設として活用することとした。	H21-H22	H21-R1	150,000	0	中央図書館
259	都市部学校の山村留学事業(アグリビレッジみさくぼ構想)	都市部の学校への自然を生かした教育などのための留学の受入れを行う。 ・学制案などの整備 ・学習体験施設整備(既存施設の有効利用、カモシカ体験館や小学校など) ・教育体制整備(自然や伝統文化の講師などの教育)	天竜区	実施困難(実現性)	水窪地域の人口減少に伴い、商店など生活基盤を支えるサービスが計画当初より大きく減少し、受入後の留学生の生活を支える地域基盤や環境が大きく変化していることから施設整備を伴う計画を見直し、今後は生涯学習講座等を活用し自然や伝統文化に精通した人材の育成を行うと共に、学生の滞在が必要な場合は地域の宿泊施設とも連携しながら、自然を生かした教育の推進を図っていく。	H20	—	14,000	0	市民協働・地域政策課
260	みさくぼフィールドミュージアム事業(アグリビレッジみさくぼ構想)	カモシカと森の体験館を核とし、水窪の山林をめぐるスーパー林道天竜電線を自然回廊として位置づけ、野鳥の森、山住神社、植林地などの既存の自然資源を活用し地域全体を学習の場とするみさくぼフィールドミュージアム事業を展開する。	天竜区	完了(経常事業のため継続)	経常事業のため継続実施	H17-H26	H17-R2	3,000	78	市民協働・地域政策課
261	ポートによるまちづくり事業	ポートのまち天竜を全国に情報発信するとともに、地域の活性化を図るため、各種ポート大会を開催する。また、そのための施設の整備と維持管理を行う。 ・船艇の計画的な更新 ・全国高等学校選抜ポート大会実行委員会に対する負担金 ・交流レガッタ開催の負担金 など	天竜区	完了(経常事業のため継続)	経常事業のため継続実施	H17-H26	H17-R2	325,000	410,436	スポーツ振興課
268	ヘリポート整備事業	水窪地域においてヘリポートを整備する。	天竜区	完了(附帯理由付き完了)	既存の水窪グラウンド及び水窪総合体育館駐車場を緊急用ヘリポートとして指定した。	H22-H23	H22-H23	100,000	0	危機管理課
273	天竜消防庁舎建設事業	北遠地域をカバーする消防救急の拠点となる消防庁舎を整備し、市民の安全・安心に貢献するサービスの向上を図る。 概要：天竜区役所併設、鉄骨造2階建て ・建築面積：1,251.81㎡、延べ面積：1,589.53㎡ ・配置車両：指揮車1台、ポンプ車1台、救助工作車2台、救急車1台、屈折放水塔付消防ポンプ自動車1台、資機材搬送車等4台	天竜区	完了	計画どおり完了	H17-H23	H20-H23	560,000	567,634	消防総務課

施策	事業名	事業概要	区名称	R2年度末の状況	進捗状況の理由	計画年度	実施年度	計画額	実績額	本庁所管課
277	龍山総合センター耐震補強事業	龍山総合センターは、宿泊、研修など地域内外からの利用、台風時の非常時に地域の非難場所として活用しているが、耐震構造でないため耐震補強する。	天竜区	完了(附帯理由付き完了)	耐震補強を計画していたが、平成25年度に近隣で建設した龍山協働センターに龍山総合センターの機能の一部(会議室)を付加することで、総合センターを平成24年度に廃止し、平成26年度に解体し統合による効率的な施設管理を行うこととした。	H17-H24	H17-H26	95,000		市民協働・地域政策課
278	公有財産総合管理(庁舎建設、旧庁舎・総合センター解体)	地域振興の拠点施設であり、また、地域防災計画上の避難地・避難所となっているため、耐震性の劣る当該建築物の耐震化を緊急に実施する。 ・春野振興総合センター解体 ・春野協働センター建設	天竜区	完了	計画どおり完了	H17-H19	H17-H19	805,000	731,018	市民協働・地域政策課

区名	担栽事業 (A)	進捗状況					実績額(千円)	計画額(千円)	着手率 (%) (B+C+D+E) /A	完了率 (%) (B+C+D) /A	執行率 (%) I/H
		完了 (B)	完了 (附帯理由 付き完了) (C)	完了 (經常事業 のための継続) (D)	未完了 のための継続 (E)	実施困難 (必要性) (F)					
天竜区	67	24	16	10	4	3	18,032,000	19,718,313	80.6	74.6	109.4